

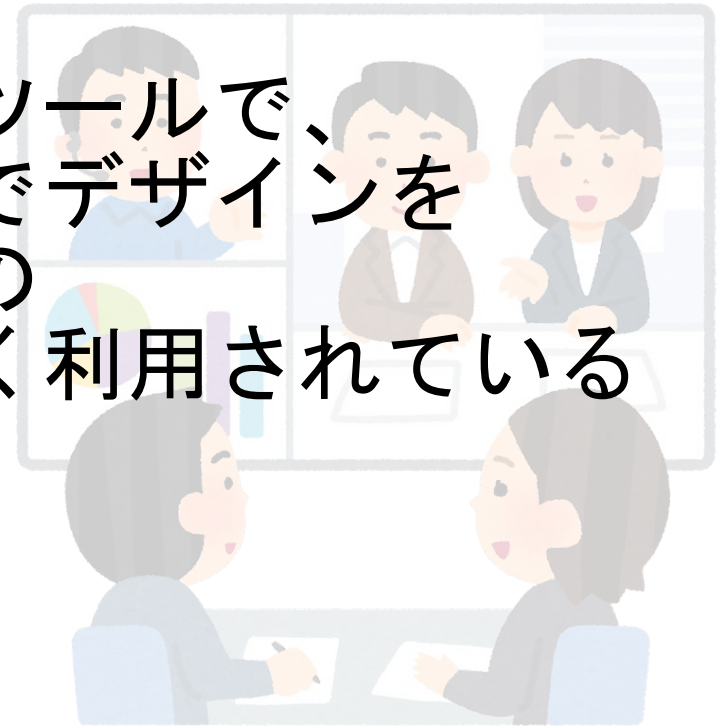
Figmaの使い方

中央キャリアアップアカデミー 町田治久

「Figma」とは？

<https://www.figma.com/ja/>

クラウドベースのデザインツールで、デザイナーやチームが共同でデザインを作成・共有・協力するためのプラットフォームとして広く利用されている



「Figma」の特徴

- リアルタイムの共同編集
- クラウドベースのデザイン
- コンポーネントとスタイルの再利用
- プロトタイピング
- プラグインのサポート

デザイナーやデザインチームによって
広く利用されており、柔軟性・協働性に
優れたツールとして評価されている

使い方（検索編）

Googleなどで「**Figma**」で検索をする
→一番最初にヒットするページに遷移すればOK

授業で使っているPCで当該ページを閲覧すると、ページ内要素が全部は表示できないため、ページの表示倍率をいったん75%ぐらいにすると、必要な情報を全体的に閲覧することが可能

使い方（導入編）

【導入方法】

TOPページで「ログイン」を押下し、
Googleアカウントでログインする



Your name

「**自分の名前**」を入力

What kind of work do you do?

「**other**」を選択

How will you primarily use Figma?

「**For teaching or taking a class**」を選択



次へ

使い方（導入編）

【導入方法】

Invite your collaborators

ページ下部の「**Do this later**」をクリック



Where do you work?

ページ下部の「**skip**」をクリック



What Brings you to Figma?

ページ下部の「**skip**」をクリック



次へ

使い方（導入編）

【導入方法】

Who do you collaborate with most often?

ページ下部の「**skip**」をクリック



Choose a plan for your team

「**Start for free**」を選択



What would you like to do first?

「**I'll get started on my own**」を選択



登録完了

使い方（設定編）

【日本語化の仕方】

▼Figmaファイル読み込み後の画面の場合

1. **左上のアイコン**を押下
2. **Help and account**→**Account settings**押下
3. 表示されたプロフィールの**中央やや下付近**にある「**Change languages**」を押下
4. 「**日本語**」を選択して「**save**」押下

▼ログインしてすぐの画面の場合

1. **右上のアイコン**を押下
2. 表示されたメニューの「**Language**」の項目を「**日本語**」に変更

使い方（閲覧編）

【カンパファイルの読み込み方】

Figmaのログイン後の画面を開き、
表示したい「Figmaファイル」をドラッグして
Figmaの画面上にドロップすればOK

ログイン後の画面にある
「ファイルをインポート」という項目から
任意に選択することも可能

使い方（閲覧編）

【ファイル読み込み後に見る必要がある箇所】

■左側

「レイヤー」で任意の項目を選択すると、
左側の項目で選んだレイヤーが中央でフォーカスされ、
右側のメニューに詳細が表示される

「#」や「▶」を押すと、
さらに内部の構成物にフォーカスすることができる

使い方（閲覧編）

【ファイル読み込み後に見る必要がある箇所】

■中央

左側で選んだ要素が、中央にフォーカスされる

フォーカスされた要素は、右側のメニューに詳細が表示される

▼表示倍率の拡大縮小

ctrlキーを押しながらマウスホイール操作で
表示倍率の拡大縮小ができる

使い方（閲覧編）

【ファイル読み込み後に見る必要がある箇所】

■右側

中央で選ばれている要素について、様々な内容を確認できる

▼デザインタブ

要素の幅や高さ、使用されているフォントの種類・太さ、
選択範囲の色などを確認できる

▼プロトタイプタブ

要素のリンク状況を確認できる

[以前あったもの]

▼インスペクトタブ

要素の大きさや余白の広さ、
隣の要素との間隔などを確認できる

使い方（閲覧編）

【ファイル読み込み後に見る必要がある箇所】

■画像が必要な場合

左メニュー内で必要な画像を選択した状態で、
右メニュー下部にある「エクスポート」を選ぶことで取得可能

ただし、どんな要素も画像として取得できてしまうため、
以下ルールを適用します

※ 画像使用のルール ※

基本的にテキストは手入力を基本とし
画像が用意されているもののみ画像を取得すること

「vector」という種類になっている画像は
「<svg>タグ」を使って作ることを前提とし、それ以外の画像は
PNG か JPG のどちらかでダウンロードして使用

使い方（閲覧編）

【ファイル読み込み後に見る必要がある箇所】

■要素の大きさや余白、隣の要素との間隔を見たいとき

左メニューで任意の要素を選択後、
中央に表示されている要素上で**altキーを押す**ことで
余白や隣の要素との距離といった内容が確認可能

〔以前の仕様〕

確認したい要素を左メニューから選択すると、
右メニューに大きさや余白の情報が表示される

確認したい要素を左メニューから選択し、
右メニューで「インスペクト」タブを選択後に、
中央の要素にカーソルを当てると、
選択している要素から見た余白や間隔が確認できる

Webプログラミング演習の 注意事項

今回の目標は

「**カンピュータにできるだけ忠実に作成すること**」
なので、まずはHTML/CSSを使ってページ作成を行う

この講義においては

デザインカンピュータを編集することはしないので
データ本体を編集して保存しないように注意する